

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 佐藤 公俊	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 (1) 教育活動 ①3、4年生のゼミナール活動に関して、2013年7月3日に本学地域政策学部増田正ゼミとのインゼミを行った(2008年度より継続)。 ②3、4年生のゼミナール活動に関して、2013年10月7日及び11月11日に本学地域政策学部味水佑毅ゼミとのインゼミを行った。11月11日は高大連携事業の一環として附属高校の1年生280名のゼミ見学を受け入れた(2008年度より継続)。 ③3、4年生のゼミナール活動に関して、2013年12月6日～8日に4大学合同ゼミ合宿(富山大学青木ゼミ、茨城大学井上、高崎経済大学佐藤ゼミ、新潟大学馬場ゼミ(不参加))を行った(2008年度より継続)。本年度は山梨県富士吉田市のホテルエバグリーン富士で3年生共同研究および4年生卒論研究報告を行った。 ④2013年9月7～9日(夏合宿)と12月6～8日(インゼミ合宿)にゼミ合宿を行い、4年生の卒業論文発表、3年生の共同研究発表ならびに3、4年生対抗ディベート等を行った。 ⑤2014年度演習Ⅰを履修予定の2年生に対するプレゼミを行った。6月から11月の研究成果を問うために地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」へ2チーム(「ふりー・すぺーす」、「チーム・パーキング(第1位を獲得)」)が参加した(2011年度より継続)。 ⑥高大連携事業に関して、味水ゼミとのディベートなど中心とした高崎経済大学附属高校の教育事業へ貢献した(2008年度より継続)。 ⑦2013年10月10日を中心に、高崎経済大学附属高校が出場する英語ディベート大会に向けて、ゼミ生およびESS(高崎経済大学英語研究部)の学生とともに、英語ディベートの指導を行った。 (2) 研究業績 ①佐藤公俊・門松秀樹「行財政改革の歴史と理論—歴史研究と理論研究の架橋の試み—」大山耕輔監修・笠原英彦・桑原英明編著『公共政策の歴史と理論』ミネルヴァ書房、2013年4月、14-62頁。 ②佐藤公俊「不確実性下の政策決定モデル」大山耕輔監修・笠原英彦・桑原英明編著『公共政策の歴史と理論』ミネルヴァ書房、2013年4月、209-219頁。 ③佐藤公俊「行財政改革の理論分析」『地域政策研究』第16巻3号、2014年3月、31-44頁。 (3) 研究活動 ①日本地域政策学会理事・事務局長として、学会の企画・運営等を味水佑毅理事・事務局長と協同で管理した。2013年7月に開催された第12回全国研究【京都】大会・総会、2013年度に4回にわたり開催された理事会の企画・運営責任者として業務を遂行した。また、2014年7月開催予定の第13回全国研究【金沢】大会の企画・運營業務を行った(2010年度より継続)。	

②2013年7月に地域活性学会監事を委嘱された。以後学会監事および広報委員会委員として学会運営に関わった。

③2014年6月に高崎経済大学で開催される予定である日本公共政策学会全国大会運営委員として活動した。2014年全国大会に向けて、2013年度より現在進行形で企画・運営に携わっている。

④大学の戦略的研究の一つと位置付けられる「公立大学の研究」を開始した。初年度は学生へのアンケート調査及び滋賀県立大学・国際教養大学・岩手県立大学に対してヒアリング等の調査を行った。

(4) 学内行政

①地域政策学科長として学科に関わる業務について主宰・統括の責を負った。具体的には学科に関わる人事案決定の学科会議における意思決定、リレー講義の執行などの業務を遂行した。

②地域政策学部教務委員長として、地域政策学部の教務に関わる事項について管理運営を行った。

③地域政策学部入試運営副委員長として、入試運営委員長（地域政策学部長）を補佐し業務を遂行した。

④実習運営委員会委員、教職課程運営委員会委員、人事委員会委員、調査書等評価委員会委員長、大学院自己点検評価委員会委員、基礎教育の在り方に関する検討委員会委員として学内業務に関与した。

(5) 社会貢献活動

①川口市行政評価外部評価委員会委員として、川口市企画財政部行政経営推進室の業務に対する助言等を行った（2010年度より継続）。

②群馬県立文書館運営協議会委員として活動した（2011年度より継続）。

③安中市行政改革審議会委員として活動した。また同委員会の活動の一環として、行政評価外部評価のコーディネータを務めた（2012年度より継続）。

④渋川市行政評価専門部会・事務事業評価〈二次評価〉コーディネータをつとめた（2012年度より継続）。

2 その他の事項